

東京工業大学における OCWの活用

望月祐洋

moma@gsic.titech.ac.jp 東京工業大学学術国際情報センター

アウトライン



- 現状
- 特徴
- 議論
- まとめ

現状

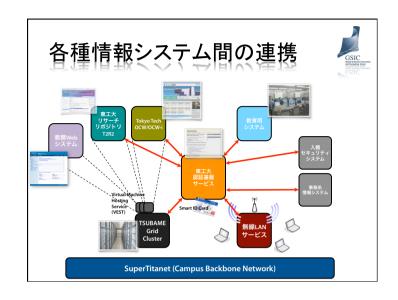


- 2005年5月よりサービス開始
- ・ 公開コース数 (8/6/2009現在)
 - 478 (内, 英語版52)
- 月次平均訪問者数 (2008年度)83,381

特徴

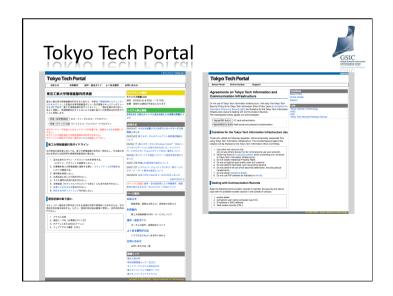


- ・ 公開範囲別サービス構成
 - 学外閲覧者向けの講義資料公開サイト
 - Tokyo Tech OCW
 - 学内限定の講義資料公開サイト
 - Tokyo Tech OCW-i
- ・ 教員自身による講義資料の登録支援
 - 東工大ポータルページよりキャンパス共通認証・ 認可システム経由でログイン
- 学内の各種情報サービスとの連携
 - 認証基盤サービス,教務Webシステム,リサー チリポジトリ











T2R2 (Tokyo Tech Research Repository)

- 2007年8月よりサービス開始
- 外部公開ページと内部ページ
 - 発信と登録/活用
- 学内の他のシステムとの連携
 - 認証認可システム
 - 研究者情報システム、OCW
- ・ 研究者自身による登録
 - データ登録のための入力コストの軽減
- 登録データの活用
 - 大学管理サーバによるデータの永久的な保存



教務Webシステム



- 2009年4月よりサービス開始
- 基本機能
 - 履修申告 (学生)
 - 履修申告の確認 (学生)
 - 成績の閲覧 (学生
 - 成績報告 (教員)



OCW-i



- 2009年4月よりサービス開始
- ・ 学生向けサービスの機能強化 (学内限定)
 - 軽量CMS機能
 - ・講義資料の登録・更新、課題設定・提出、掲示板、カレンダー
 - 更新情報のRSS配信・メイル通知
 - コンテンツの多形式化
 - PDF形式の制約を緩和





議論



- 対象利用者
 - 学内利用者 → 3~4割
 - 2008年度学勢調査結果 (http://www.titech-gakusei.jp/)
 - 「OCWを知らない」→ 34%
 - ・「知っているが利用していない」→45%
- コンテンツ提供方法
 - 学外利用者の利便性を高めるには?
 - ナビゲーション方法 (ランキング、ディレクトリ検索、キーワード検索)
 - 片方向 vs. 双方向
- システム
 - プラットフォームの共通化
 - 学内各種情報システムとの連携, 学外OCWとの連携
- 著作権処理
 - 著作権ポリシー、専任スタッフによるマニュアル処理と機械処理

まとめ



- Tokyo Tech OCW/OCW-iの特徴と活用の現状
- ・ 今後のサービス発展の方向性
 - 対象利用者
 - コンテンツ提供方法
 - システム
 - 著作権処理